

普段の居場所とつながりが防災への一歩

誰ひとり取り残さない地域づくり



この情報誌の発行はまちづくり協働推進事業として
東海市が NPO 法人 SmileyDream に委託しています



データから見る令和4年の東海市

青背景以外は「東海市の統計」より

人口は**113,931**人でした
知多半島では2番目に多いです
4月1日現在



世帯数は**51,397**世帯でした
平均2.2人は県平均より少ないです
4月1日現在



1年間に**898**人生まれました
5年前は1,145人でした
少しずつ少子化が進んでいます



外国人は**2,233**人いました
年々増えています
12月31日現在



65歳以上の高齢者は**25,897**人でした
高齢化率は22%くらいです
4月1日現在



身体に障がいのある人は**3,664**人でした
肢体障がいの方が半分以上です
4月1日現在



知的・精神に障がいのある人は**1,964**人でした
知的と精神は同じくらい的人数です
4月1日現在



要介護・要支援の人は**4,919**人でした
86%くらいが75歳以上の方です
3月31日現在



知多北部広域連合「介護保険の運用状況」より

東海市データコーナー

トップページ > 市政情報 > 統計 > 人口統計 > データコーナー

オープンデータ一覧

東海市地図情報 トップページ>オープンデータ一覧 <https://www2.wagmap.jp/tokai/OpenData>

「避難所・避難場所」「液化化危険度マップ」「津波浸水想定域図」「公共施設・公園」「子育て支援施設」「町内会・自治会」などカテゴリごとに見ることができるのでとても見やすいです。





東海市の避難所にはどれくらいの人が避難できるの？

災害の種類や規模、住んでいる場所によっても避難場所は変わってきます。どこに避難をするかを家族や身近な方と共有しておきましょう！自宅や車中で過ごすことも考えておくと安心です。

拠点避難所 災害から避難し、避難生活をする施設です。 短期 15,795人 長期 5,259人	予備拠点避難所 発生した災害に対する安全性の確認が取れた後に開設する避難所で、発災直後には開設しません。 短期 5,314人 長期 1,610人
一時避難所 地元の集会所等で、災害時に一時的に避難をすることができる施設です。 826人	避難可能箇所 拠点避難所に避難ができない場合等に、安全確認後に避難が可能な施設です。 短期 10,588人 長期 3,508人
広域避難場所 地震の警戒宣言が発令されたときなど、大きな被害が予想されるとき、事前に屋外で安全に避難できる場所です。 22か所	一時避難場所 災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所です。 63か所
津波一時避難ビル 大規模な津波・高潮の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、緊急に一時避難する施設です。 23か所	福祉避難所 地震などの大規模な災害が発生した際、小中学校の体育館などの拠点避難所での避難生活において、配慮を必要とする方々のために開設する避難所です。 16施設

短期は、おおむね半日ないし1日とし、寝泊りできないもの。 長期は、おおむね2日以上とし、寝泊りできるもの。

令和6年3月現在

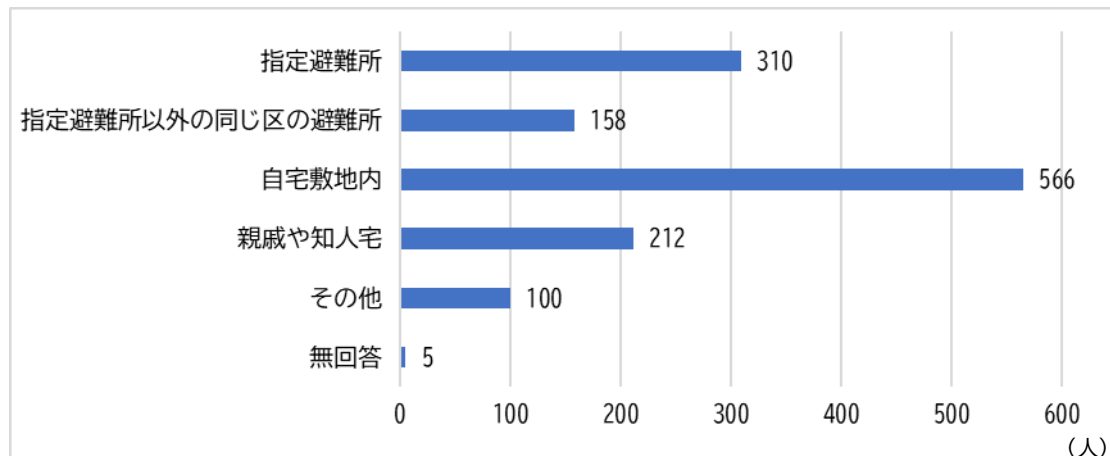




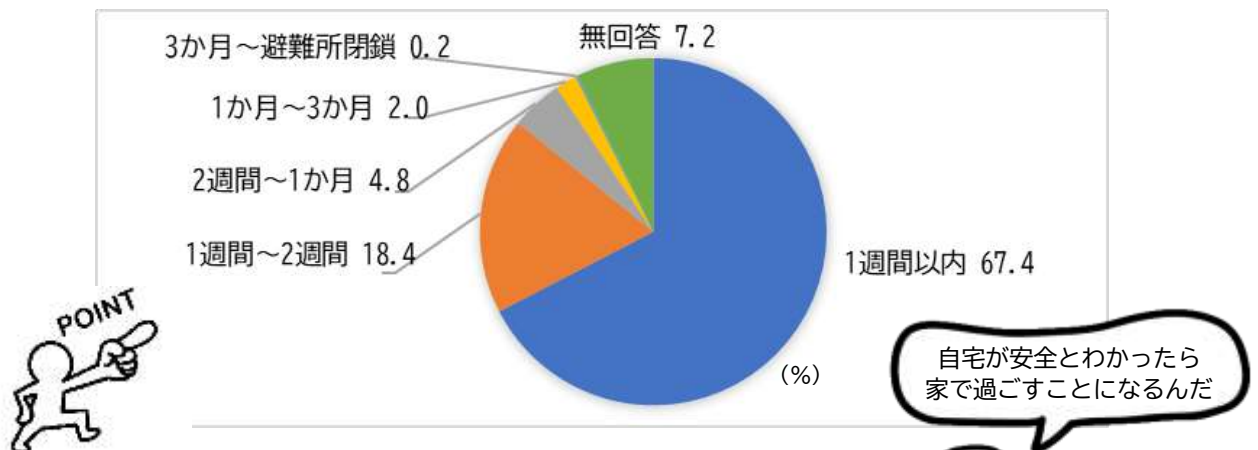
熊本地震を経験した「育児中の女性」へのアンケート調査

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震は 2 回の大きな揺れにより甚大な被害をもたらしました。

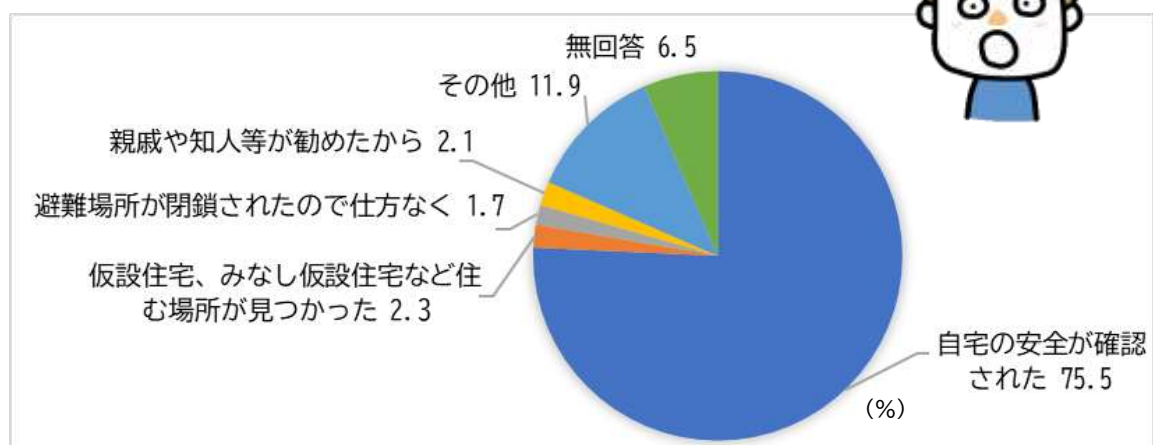
2 回目の地震の直後の生活をしていた場所 (N=1351)



避難所の滞在期間 (N=457)



避難所から現在の場所に移られた理由 (N=478)

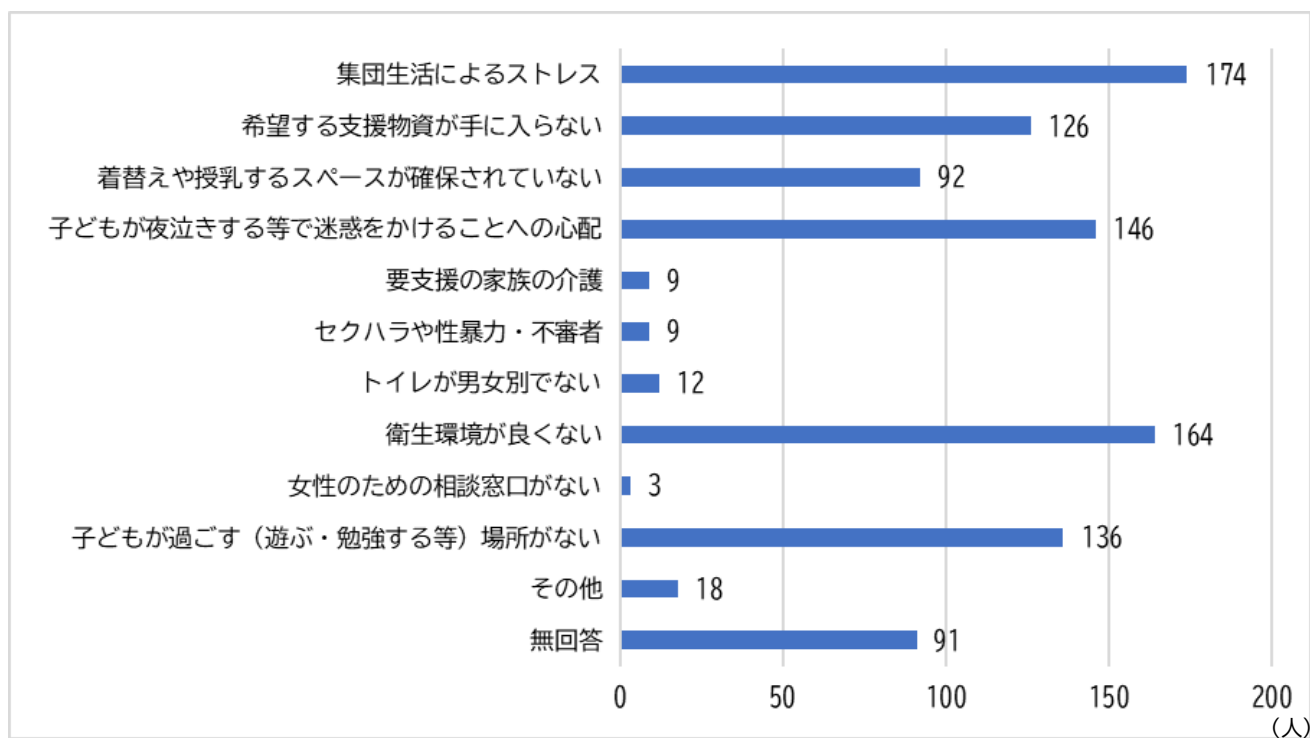




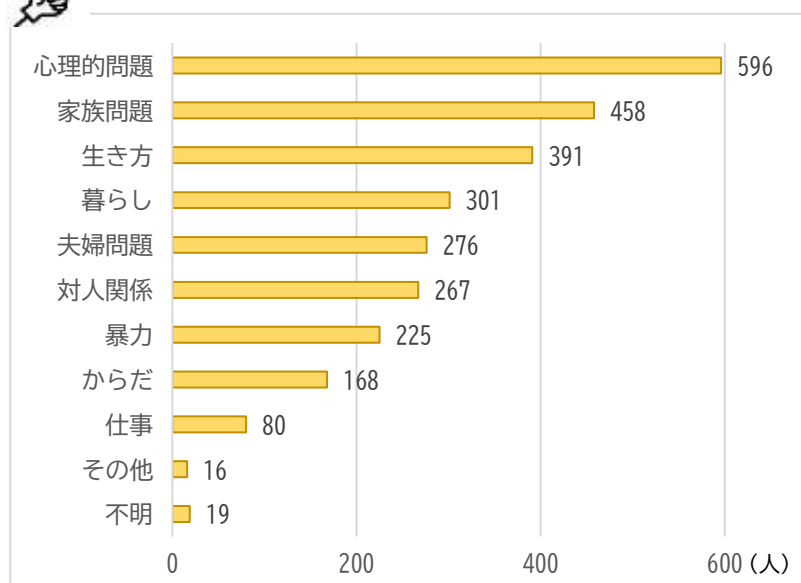
から被災した時の状況をイメージして考えましょう

熊本地震発生から 1 年を経て、「熊本市男女共同参画センターはあもにい」が当時の被災状況を検証されました

避難所での生活で不安・不便に感じたことは何ですか。(3つまで) (N=457)



Check 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談内容
(N=1180、複数回答)



配偶者からの暴力に関する主な相談内容

相談内容	%
精神的攻撃（経済的・社会的含む）のみ	65.3
身体的暴行と精神的攻撃	28.1



被災した時は避難所だけではなく

避難所には全員が入れるわけではありません。今住んでいる家屋が安全であれば在宅避難を

こどもと女性も安心できる避難生活

災害時にこどもと女性が安心して生活することができる「任意の避難所」の開設準備が愛知県内で広がっています。

一般社団法人こども女性ネット東海が、普段の生活でこどもや女性に関わる市民活動団体などに声をかけ、被災時の女性リーダーの養成を行っています。岡崎市では「防災ファーストペンギン☆おかざき」として5拠点まで増えました。

- ① 団体名
- ② 普段の活動
- ③ 普段の活動の対象者
- ④ 被災時の対象者
- ⑤ 被災時の受け入れ人数
- ⑥ 避難所開設準備への想い

- ① 多世代型子育てひろば和っ家 **A**
- ② 遊び庵ボレポレ、障がい者のB型就労支援施設
地域のコミュニティスペース Cafe あすなろ
- ③ 妊婦、0～3歳、3～5歳(就園児)、6～12歳(小学生)
13～15歳(中学生)、16歳以上障がい児家族
- ④ 妊婦、授乳期の親子
子育て世代の親子(障がいのある子も含む)
- ⑤ 10人
- ⑥ 大規模避難所で過ごしにくいこどもが遊ぶ、妊婦がゆっくりと体を休める、授乳期の産婦が安心して授乳できる居場所作りをしたい。

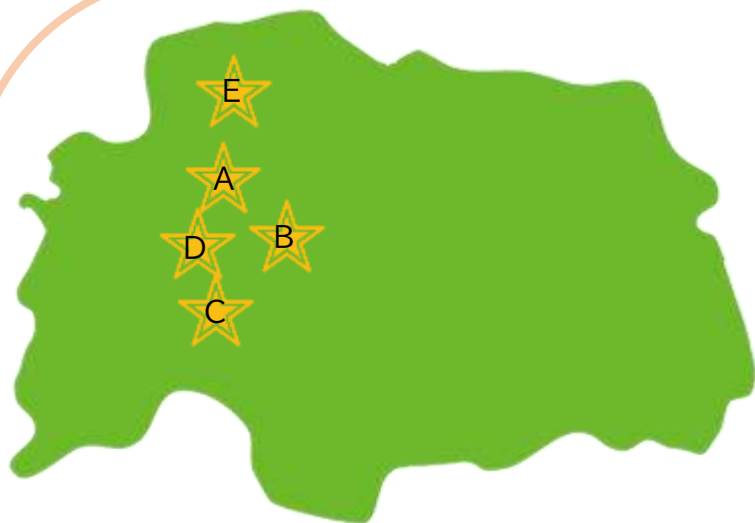


- ① 岡崎ベビママのwa **B**
- ② 子育て支援交流イベント、乳児親子サークル
フリースクール
- ③ 妊婦、0～3歳、3～5歳(就園児)、6～12歳(小学生)
- ④ 障がい児家族 妊婦
- ⑤ 車中泊含み10家族程度まで
- ⑥ 施設前は公園で、施設オーナーは医者。我慢させられがちな子どもが安全に過ごせる場所の提供。日常に近い空間をつくりたい。



普段の居場所やつながりが大切です

される方も多くなります。いざという時ほど日頃からの地域とのつながりが安心につながります。



- ① トリクマカフェ korin **C**
 ② ダウン症児家族の交流会を定期開催
 ③ 妊婦、0～3 歳、3～5 歳(就園児)
 6～12 歳(小学生)
 ④ 障がい児家族 妊婦
 ⑤ 30 人
 ⑥ 大人数の避難所で障がい児と家族が
 過ごすことは辛いことが多いと思い、
 当事者同士が安心して過ごせる場所
 を作りたい

- ① 守ろう子どもと赤ちゃん(施設名:みんなのおうち連尺) **D**
 ② 託児、アフタースクール、ワークスペース貸出、こども食堂(月 1) など
 ③ 0～3 歳、3～5 歳(就園児)、6～12 歳(小学生)
 ④ 普段の利用者と同じ
 ⑤ 宿泊は 5 組程度、ただし日中の利用などは 30 名ほど可能
 ⑥ 被災時でもいつもの安心を確保したいと思っているから。こどもを真
 ん中にした人と人との日々の繋がりや日頃活動している経験が、いざ
 という時には必ず助け合えると信じているから。



- ① 認定 NPO 法人葵風 **E**
 ② 障がい児放課後等デイサービス、相談支援事業所、子ども相談、
 子ども食堂、コミュニティカフェ、フードバンク
 ③ 妊婦、0～3 歳、3～5 歳(就園児)、6～12 歳(小学生)
 13～15 歳(中学生)、16 歳以上
 ④ 障がい児童とその家族、高齢者や障がい者とその家族
 ⑤ それぞれ 5～8 家族
 ⑥ 弱者になっている家族の行き先がないため



東海市ハザードマップ

避難所・避難場所や防災関係施設、風水害・地震等の最新の情報が掲載されたマップです。

<https://www.city.tokai.aichi.jp/iza/bosai/1003126/1003127.html>



東海市防災ハンドブック

風水害・地震への対策や被害想定、避難所について学ぶことができます。

<https://www.city.tokai.aichi.jp/iza/bosai/1003126/1003128.html>

東海市避難所運営マニュアル作成ガイドブック

地域みんなで力を合わせ困難を乗り越えよう

<https://www.city.tokai.aichi.jp/iza/bosai/1003137/1003167.html>



愛知県妊産婦・乳幼児を守る災害時ガイドライン

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/ninsanpunyujigaidoline.html>

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団
国際交流課「外国人のための防災ハンドブック」

<https://kokusai.oihf.or.jp/project/saigaisupport/handbook/>



他にも配慮が必要な方のためのガイドブックがありますので検索してみましょう！

令和 6 年 3 月発行

編集：NPO 法人 SmileyDream

発行：東海市 市民福祉部 女性・子ども課 女性活躍支援担当

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目 1 番地

Tel：052-603-2211・0562-33-1111

E-mail：kodomo@city.tokai.lg.jp